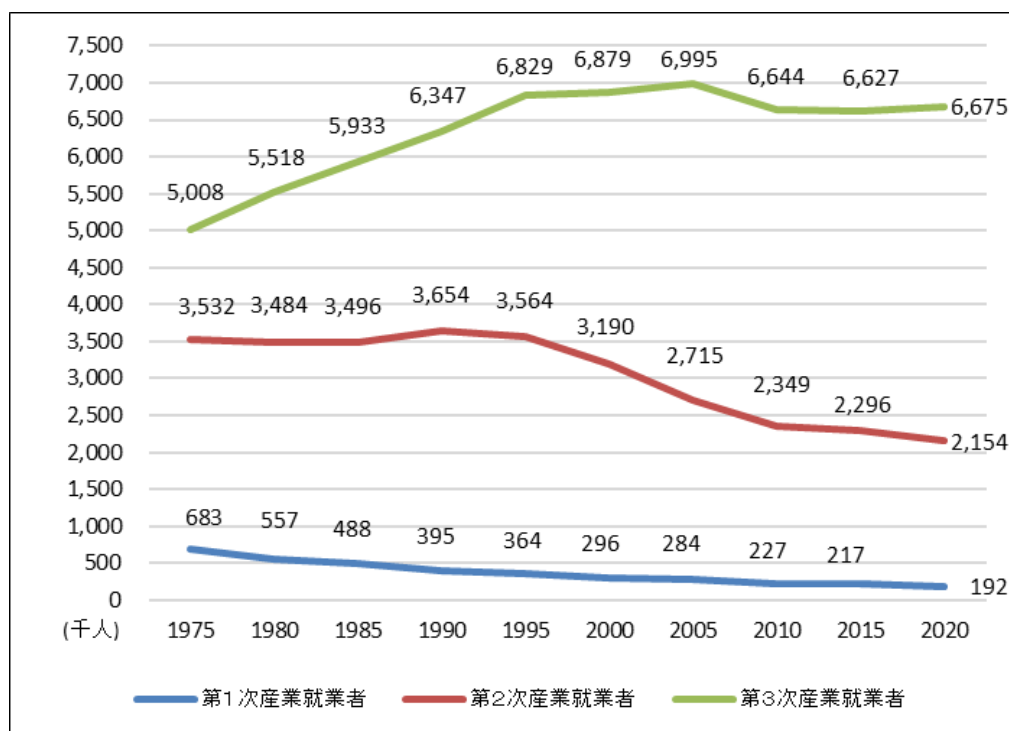
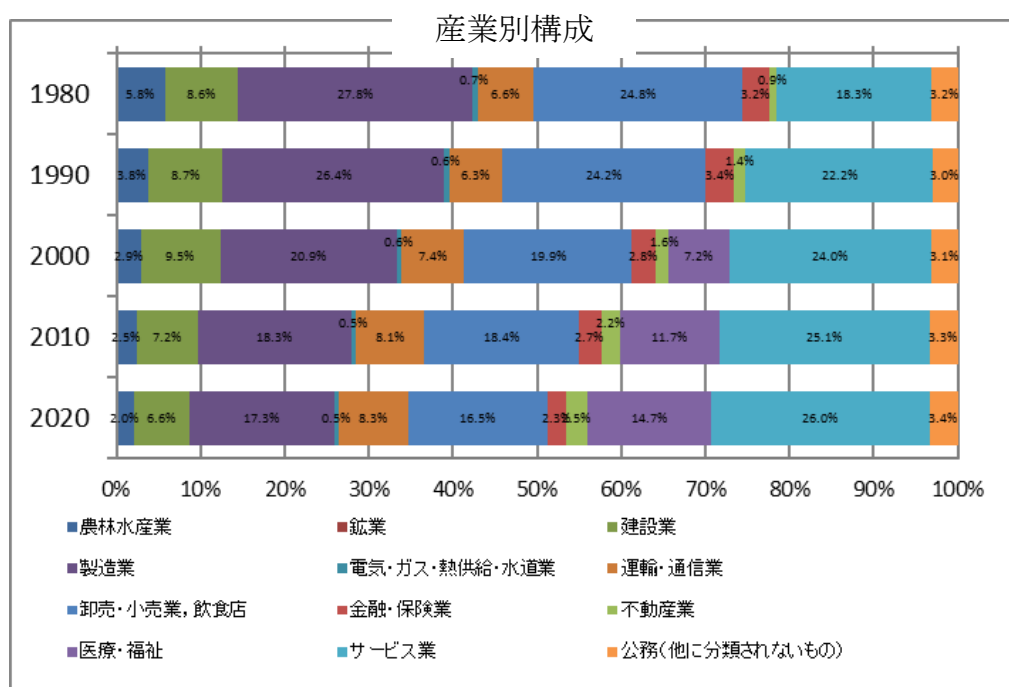


【産業別就業者数】（令和4年11月更新）

- ・ 第1次産業就業者数は1975年の30%未満となる約19万人まで減少している。
- ・ 第2次産業就業者数は増加傾向にあったが、1990年以降は減少しており、2020年にはピーク時の60%未満の約215万人となっている。
- ・ 第3次産業就業者数は、増加傾向が続き、2005年以降減少に転じたが、2020年には微増し、全産業に占める割合は1975年の約54%から2020年には約74%まで増加している。
- ・ 業種別では製造業、卸売・小売業等の割合が低下する一方、医療・福祉やサービス業の割合が増加している。



（出典）総務省「国勢調査」



（出典）総務省「国勢調査」